

# システム開発資料

**GLIVE Inc.**

## 会社概要

会社名 株式会社 G LIVE

設立 2020年10月

本社 東京都

オフィショア拠点 ネパール

GLIVE Inc.





# GLIVE Inc.

## 事業内容



### システム開発

海外のシステム開発ラボでコストを最低限にしシステム開発および保守運用を行なっています。



### Influencer

インフルエンサーを活用したマーケティングや PR の支援を行なっています。



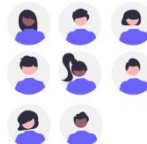
### GOLF

ゴルファー向けライブ配信アプリケーションの開発を行いホワイトレーベルでの開発業務を受けています。



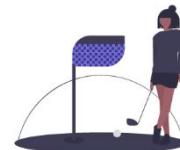
### Game Team

海外のシステム開発ラボでコストを最低限にしシステム開発および保守運用を行なっています。



### 支援業務

ゴルフに特化した IT コンサルティング業務を行なっています。企画から運用までお手伝いします。



### MEDIA

女子ゴルフインフルエンサーが今までにないゴルフ × ライフ情報を発信していきます。「ゴルフM」

# Vision/Mission

---



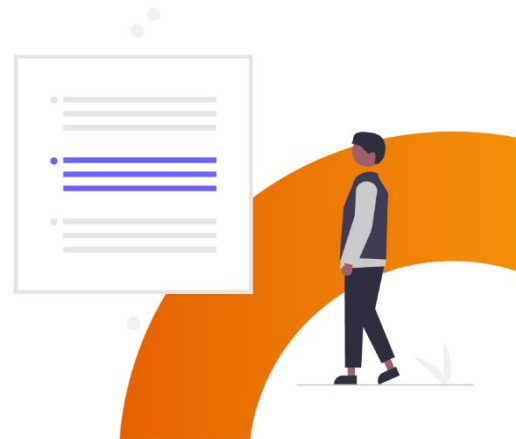
ゴルフを通じて多くの人  
繋がる世界を作る

ITの力とアイデアで想像以上を届ける

システム開発の力とアイデアで  
最大限に反映した人を繋げる



ゴルフを始めるきっかけを提供し  
ゴルフ業界を盛り上げる



The background features a series of overlapping, diagonal rectangular blocks in various shades of orange and brown on the left side, transitioning into a light grey area on the right.

# システム開発に関して

**GLIVE Inc.**

# 状況にあったご提案をさせていただきます

1

システムを作りたい・システム開発会社を探している。

初めてシステム開発を検討している

システム開発は依頼したことあるが開発会社を変えたい方

2

1 売上拡大のためにシステム化を検討している。

2 システムや Web サービスが既にあり、ネイティブアプリ化を検討

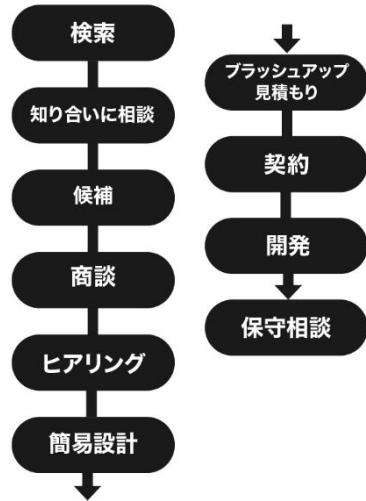
# システム開発依頼を検討・探している方

まずはヒアリングをさせていただき、内容を元に見積もりと完成時のイメージ画像を作成します。



各開発フローごとのハイブリット開発で見えない×対応ができないを解消し“計画的かつ柔軟な開発”を実現しています。

システムを作りたい  
システム開発会社を探している方



# このような流れでリリースまで伴走します

ご紹介の方経由の場合プライスダウン(木村様紹介)

売上拡大のためにシステム化を検討している。



既に、お見積もりを他社で取られている場合、それよりも費用を抑えられる可能性があります！

理由 ① 紹介者割引の適応

理由 ② お見積もりを参考にさせていただき、不要な費用などを省いた見積もりを作成いたします。

システムや Web サービスが既にあり、ネイティブアプリ



システム化することで売上と従業員の効率が上がります！



## 選ばれる理由

1. 海外に開発拠点があるため、日本よりも低単価で開発を行うことができます。
2. お見積もりの際に、ヒアリングした内容を元にワイヤー（システムの完成イメージ）画像を作成するため担当者の方の不安や完成後のイメージがある上で判断いただけます。

※お見積りの目安にしてください。  
ヒアリングの内容と開発の工数で変動いたします。



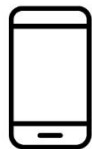
期間 6ヶ月 約1,500万円  
ライブ配信動画アプリ



期間 3ヶ月 約800万円  
学校 / 施設向け管理システム



期間 3ヶ月 約750万円  
多言語求人サイト



期間 4ヶ月 約900万円  
電子契約システム



期間 3ヶ月 約650万円  
ヘルスケア領域見積サイト



期間 2ヶ月 約180万円  
ホームページ制作

# なぜクライアントに選ばれるのか①

## オフショア開発

日本でヒアリング・設計をし一部の開発をオフショアのメンバーが行うことで開発コストを格段に安くすることができます。

### 特徴



日本のエンジニア  
単価より安い。



PW が日本と現地の 2 名  
体制でサポートを行う。



開発から保守運用のサポート  
まで一貫して行う。



ワイヤー制作の時点でUX  
を考慮したサービスの提案  
を行うことができる。

## なぜクライアントに選ばれるのか②

### 開発チーム

上流工程から下流まで対応できる開発チームが”事業に必要な要件定義から開発、保守管理まで対応可能”。

	A社	B社	C社	D社	当社
戦略策定	○	—	—	○	○
要件定義	○	—	—	○	○
チーム設計	○	—	○	○	○
システム設計	○	○	○	○	○
開発	○	○	○	—	○
運用保守	—	○	—	—	○
テスト	—	○	—	—	○

## アプリ開発 / 事例

ゴルファー専用プラットフォーム “Golf in me” ライブ配信 × スレッドを活用した参加型コミュニティアプリ

GOLF  
×  
LIVE

DAILY  
×  
LIVE

THREAD

MAPPING

機能

ロコミ

応援

観戦

ラウンド  
募集

仲間探し

サークル

# GLIVE Inc. の強み

## 自社サービスの 開発実績

クライアント様が安心してご発注いただけるように「何を作りたいのか」「開発予算はどのくらいか」をヒアリングし、サービスと事業全体の理解を深めて要件定義から開発、運用までクライアント様と一緒にサービスを作っていきます。

## 開発体制の 内製化

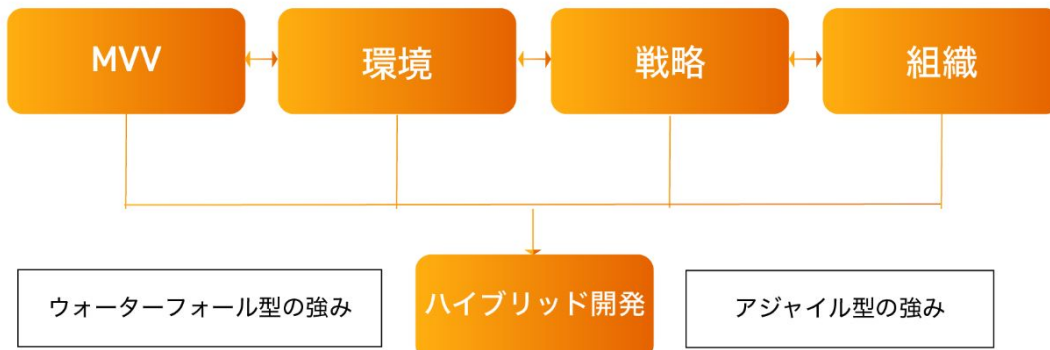
開発体制を内製化することで品質を担保し、スピーディーな開発を実現しています。日本における開発体制の強化はもちろん、海外の優秀なエンジニアの採用を積極的に行うことで開発体制を強化しています。

## はじめての発注でも 安心のサポート体制

「サービス開発を内製化している企業様」や「エンジニアが自社にいない企業様」など開発フェーズや体制によって様々な開発ケースが想定されます。はじめて開発会社に依頼を検討される企業様でも安心してご利用いただけるよう開発のみならず保守運用までしっかりサポート致します。

# 事業成長を加速させるビジネスパートナー

クライアントの”作りたかった”を具現化し、事業成長を実現する



ハイブリッド型  
×  
事業家集団

開発会社ではなくビジネスパートナーとしての戦略提案・開発の実現

Why Us?

スピード

ハイブリッド開発 × 双方向対話重視で  
無駄をなくし”高いスピード”を実現



品質

高い柔軟性とズレのない作りた  
かった”納品物”を実現

# ハイブリット型開発

アジャイル×ウォーターフォールを融合した開発で”開発における不確実性を柔軟に吸収し高品質な納品にコミット”

従来の請負開発で”よく聞く声”



「納品責任のない開発は発注しづらい」

「アジャイル開発のように仕様変更を柔軟に受け入れて欲しい。しかし、納品責任のある開発において、そんな好都合な契約はない」

「要件定義通りに納品されたが、リリースリリースするまでもっとブラッシュアップしたい」

「ブラッシュアップのために要件定義をする時間もコストもない」

ウォーターフォール型

最初に精緻設計して承認して作っていく手法

後からの柔軟な変更が難しい、序盤でガチガチに使用を決める必要がある反面、全体像がみえやすいメリットがある。

ハイブリット型

柔軟性×計画性を合わせた手法

アジャイル開発による高速ブラッシュアップ  
「要件定義→ウォーターフォールモデル開発(納品)→アジャイル開発(仕上げ)」

アジャイル型

あえて厳密に定義をしなくて機能ずつ小分けでリリースしていく手法

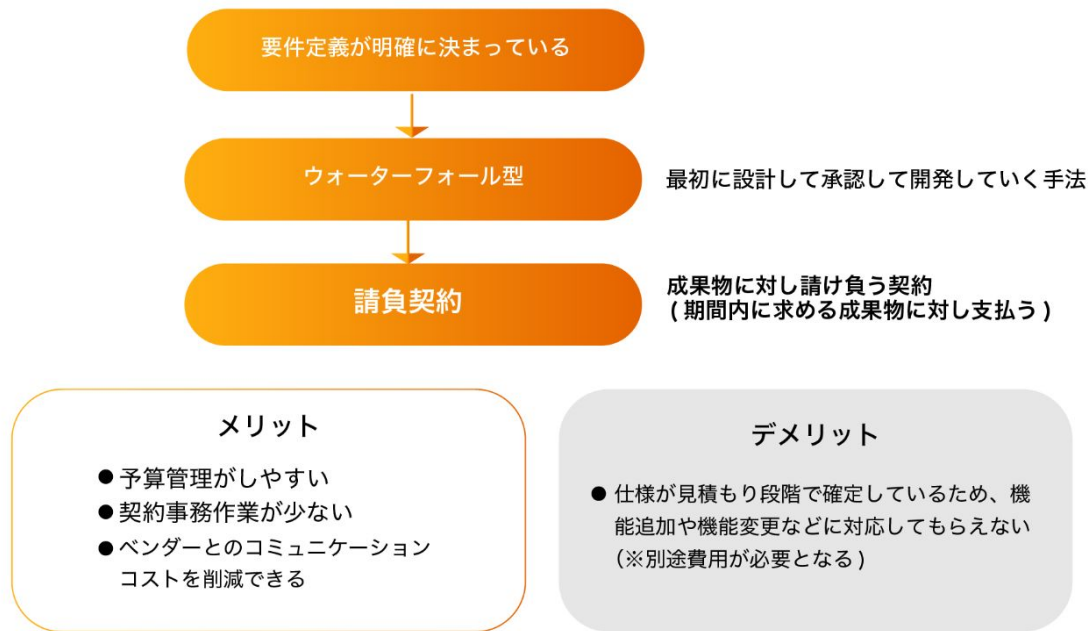
柔軟な変更が可能な反面、終わりが見えづらくなったり、最初に作ったものからズレる。

リリース前段階での微調整とブラッシュアップをアジャイルで高速回転させることでクオリティを飛躍的に向上



# 開発形態と契約形態の決め方 — ウォーターフォール型 —

請負契約も準委任状も”納品”がゴールではあるが、プロジェクトの進め方や利点異なる  
要件定義の完成度合 / 変更・追加可否などに応じて開発手法も契約も異なる



# 開発形態と契約形態の決め方 — アジャイル型 —

要件定義が定まり切れていない  
(変わる / これから決める)

アジャイル型

あえて厳密に定義をせずに柔軟に開発していく手法

ラボ型契約

ベンダーの労働に対し請け負う契約  
(人月単価 ×PJ アサイン人数に支払う契約)

## メリット

- 要件の追加や変更にも柔軟に対応できる
- ※ 要件を相談しながら決めていくことができる
- ※ 優先順位の変更に伴う機能変更も同じ (開発工数内であれば可能)

## デメリット

マネジメントに長けた人材がベンダー内にいる必要がある (いない場合はマネジメントコストが生じる)

# なぜクライアントに選ばれるのか？

## — ハイブリット型開発 —

“アジャイル×ウォーターフォールを融合した開発で” 開発における不確実性を柔軟に吸収し高品質な納品にコミット”



アジャイル：打合せ  
ウォーターフォール：開発計画



アジャイル：打合せ & デザイン確認  
ウォーターフォール：デザイン計画



アジャイル：開発状況 & 機能 / UX・UI 打合せ  
ウォーターフォール：開発進捗計画

# なぜクライアントに選ばれるのか？

## 各フローごとの強み

クライアントのビジネスパートナーとして会話を重視しながら”計画的かつ柔軟”に納品まで進んでいきます。

### 要件定義

双方向の会話に重きを置いたビジネスパートナーとしての戦略提案・開発の実現

- 1 **MVVや事業目標から逆算した要件提供**  
双方でサービスイメージの共有を行い、根本がずれないように”ユーザーが使いやすい/成果がやすい”要件定義を行います。

- 2 **簡易 / 初期デザインの共有**  
口頭だけでなくお互いにイメージ共有する中でアウトプットの解像度を上げていきます。

### デザイン化

UX/UIを追求したデザインでイメージの解像度を上げる

- 1 **経験豊富なデザイナー**  
サービスの最終にアウトプットイメージを作成したものをベースに納品物の解像度を上げていきます。

※アウトプットを見ながら、色味や機能などを確認し、ユーザーが使いやすいものを追求していきます。

### 開発

ハイブリッド型開発で”柔軟性 × スピード → 高品質”を実現

- 1 **ハイブリッド型開発**  
柔軟性とスピードでクライアントが求める品質を上げ、納品物の細部のクオリティまで追求していきます。

- 2 **豊富な開発実績**  
経験豊富なメンバーがワンチームとなり、開発をアジャイル型で進めていきます。企業様の期待水準を超えるような提案と開発をしていきます。

# 最大の特徴: サービス開発だけでなくローンチ後までフォロー

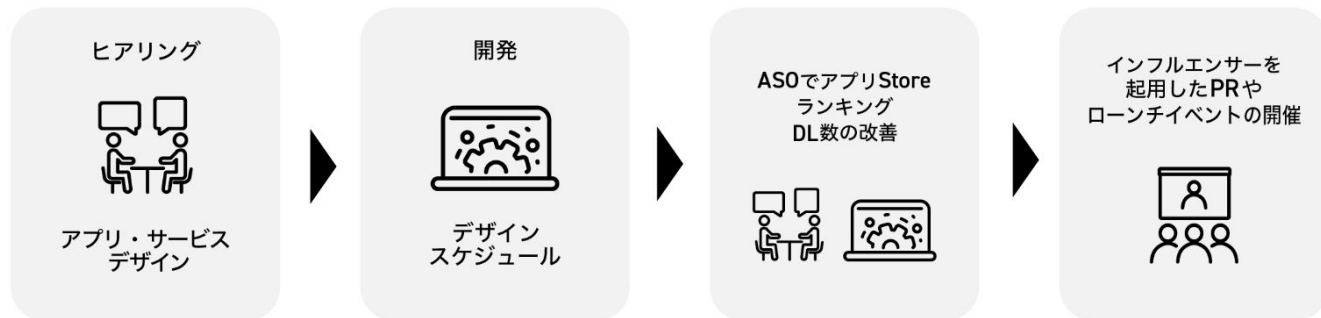
開発

ローンチ

ASO

PR

開発後、サービスを納品して終わりにするのではなく、サービスをより多くの方に知ってもらえるようにお手伝いさせていただきます。



各開発フローごとのハイブリット開発で見えない × 対応ができないを解消し計画的かつ柔軟な開発を実現しています。

**ご質問やお見積もりなどのお問い合わせの際は  
下記の連絡先にご連絡いただけますと幸いです**

**お問い合わせメールアドレス**

**info@glive-official.co.jp**

**株式会社G LIVE**